

タブレット活用例示

GIGAスクール構想推進

青谷で教員向け公開授業

本年度、小中学生に1人1台のタブレット端末を配布したGIGAスクール構想の推進に向け、活用例を示す公開授業が27日、鳥取



タブレット端末を使って意見や情報を整理する生徒
=27日、鳥取市青谷町青谷の青谷中

プ学習で主体的に意見を出し合って学びを深めた。青谷中では本年度から端末が導入され、各教科で活用している。来年度には県立高校にも1人1台の端末が導入される予定で、両校の教諭の授業力向上に役立てようと初めて実施した。青谷高の広山直貴教諭が

「パインアップルゼリーが固まらない謎を解き明かす」とのテーマで授業を展開。生徒16人は2〜4人に分かれ、生のパインアップルの酵素とゼラチンの主成分であるタンパク質との関係性を考察。意見を端末に書き込みながら情報を整理した。見学した青谷中の福田和宏教諭は「同時に編集作業ができるアプリなどが効率的で、端末を使った授業展開が参考になった」と話した。
(松本妙子)